

第7回目黒区芸術文化振興計画改定懇話会 会議録

名称	第7回目黒区芸術文化振興計画改定懇話会
日時	令和8年1月15日(木) 午後3時00分～午後4時00分
会場	目黒区総合庁舎4階 特別会議室
出席者	<p><委員> 垣内委員、大野委員、青木委員、岡田委員、奥津委員、河村委員、橋委員、前山委員</p> <p><事務局> 文化・スポーツ部長、文化・交流課長、文化・観光係長、文化・交流課係員</p>
欠席者	瀬沼委員、中務委員、原田委員、山本委員
次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題 (1) 前回の検討会及び懇話会の意見について (2) パブリックコメントの実施結果について (3) 計画改定案について</p> <p>3 今後のスケジュール</p> <p>4 閉会</p>
配布資料	<p>資料1 前回の検討会・懇話会で出た意見及び修正内容一覧</p> <p>資料2 パブリックコメント実施結果</p> <p>資料3 素案と改定案との新旧対照表</p> <p>資料4 めぐる芸術文化振興プラン改定案</p>

発言者等	発言内容等
1 開会	(開会あいさつ) 部長挨拶、資料確認
2 議題	<p>(1) 前回の検討会及び懇話会の意見について</p> <p>(2) パブリックコメントの実施結果について</p> <p>(3) 計画改定案について</p>
	<p>皆さまの意見が結実したところであるが、多少の修正余地もあるため、案への意見だけでなく計画の実施にあたっては全委員から順番に意見があればいただきたい。</p>
	<p>文化縁の広がりの可能性は区民の方にも見えると思う。どう進めるかが大事だと感じた。32 ページ(4)で団体に触れている。多様な活動展開の促進を伝えたいと理解しているが、「文化施設以外でまちなかで活動を行う団体」は何を指しているのかは確認しておきたい。</p> <p>感想としては、参加して非常に勉強になったが、10年間このプランで推進するために検討期間の短さが気になった。もう少し丁寧に文化振興計画を区民と行政でともに作ることが望ましいのではないかと思った。そして、もっと討議が行われるようなイメージを持っていたが、時間の制約で難しい面もあったのだろう。</p> <p>一番残念なのは、夏休みの時期にアンケートの呼びかけは難しいと回答いただいたが、子どものアンケートの回収率が8%だったことが残念だった。会議体には教育委員会の方も入られているので、ほんの5分で良いので学校から呼びかけることも必要だったのかもしれない。</p> <p>見直しについては、具体的に何年という表記が入っていないためお聞きしたい。</p>
	<p>「文化施設以外のまちなかで活動を行う団体」だが、これは計画中にも記載がある、ナカメリアマネジメントのような地域団体、商店街などが想定される。</p> <p>計画見直しについては、5年に縛られないものとする。5年と書きこむことで労をかけて必ず見直すものではないと理解しており、コロナ禍のような大きな変化等に応じて見直しをできれば良いと考えている。</p> <p>子どもの8%については、分析のために十分で数ではないため反省している。しっかりと引き継いで今後の計画策定に活かしていきたい。</p>
	<p>計画をまとめていただき感謝申し上げます。美術館に関してだが、2年前の立ち上げ時は大変なことになってしまったと思っていたが、1年前に美術館の計画が中止になった。そして、美術館はペンディングとなっており、今後方向性が出ることになっている。このような変化の中で計画を作る場合には、9ページのような記載で示すしかないのだろうと理解している。美術館としては今後の対応については日々考えているところである。美術館としては、展覧会をすぐに止めることもなく、業務を進めていくことになると理解している。美術館としてはこの形で出してもらって良いと思う。美術館の活動は日々進めているので気を引き締めていく。</p>
	<p>他都市では図書館を構想なしに廃止してしまったことがある。壊すだけでは駄目で、その後に機能をどこで引き受けるのか、必要だという意志がなければならないのだと思う。</p> <p>計画に関する指摘としては、「展示等を行う施設として、めぐろ歴史資料館」の文章に違和感がある。美術館も展示する。「そのほかの展示する施設として」ならば理解できる。この会議に来ることが楽しかった。区役所自体が近代における名建築であり楽しむことができた。例えば埼玉県では、建物見学にお金をとって企画している。今後は近代建築を財産として更に活用してはどうか。</p>

発言者等	発言内容等
	<p>博物館法では展示は前提であり、説明を削除しても良いかもしれない。例えば「美術館以外には」等の表現にしてはどうか。</p> <p>建築物見学に関しては、目黒区役所は多くの来館者がいる施設であり、様々な制約などについて整理が必要だろう。建築物を資源として例示することも良いと思う。いずれも事務局判断にお任せしたい。</p>
	<p>委員の意見が上手にまとまった計画になっていると思う。前回計画に比べて振り返り、現状、次の10年がわかりやすくなっていると感じた。現在の日本においては、国立劇場の閉場の問題もあり、10年単位での閉場となる可能性が話題となっている。芸術文化に関しては10年という単位が長すぎるようにも思う。常に会議を開いて、現状認識から次を考えることが必要なのではないかとも思った。</p> <p>このプラン自体は取組を引っ張っていくものなので、現場の方々具体的な計画を行っていくことになる。これにより目黒区の芸術文化の波が大きくなっていくのだと思う。</p>
	<p>計画が「目黒区ならでは」や区民の愛着や意識といったブランディングつながらなければ意味がないと考えていた。企画や事業を区外から「買ってくる」「持ってくる」のようなことでは残念だと思っていた。</p> <p>しかし、区内の文化的・歴史的資源に触れたことや、施策においても文化的・歴史的資源の継承を入れていただいたことにより、これらを活用することができるようになったと思う。</p> <p>具体的な活用例としては、例えば43ページに「デジタルミュージアム」の記載があるが、抽象的なように思う。発信に関しては、先日目黒区総合庁舎の建築ツアーや東大キャンパスの見学なども入ると思う。これらは定員を超える応募があり、区民は関心を持っていると思う。また、旅行会社が行う、仏像の見学も良い企画だと思う。デジタルミュージアムの中だけでは収まらないので体験できるものも入れていただきたい。</p>
	<p>読み込めないであれば入れた方が良い。観光資源や目黒区の特徴を生かした事業あたりを膨らませる。あるいは観光資源の順番や表記を変えていくこともできるだろう。</p>
	<p>今あるものだけではなく、時間をさかのぼって見られるような近代建築や歴史的資源を取り入れるような文言を入れてはどうか。</p>
	<p>目黒区の「歴史・文化資源」を「観光」に紐づけるような書きぶりに加えてはどうか。</p>
	<p>取組26「ゆかりのある芸術家の活動を紹介する機会の提供」では、「開催する」という記載があるが、どのような形になるのか。</p>
	<p>パーシモンホール等で開催されていると理解している。このような事業は色々な考えで進めており、有名な人に加えて区にゆかりのある人も織り交ぜているだろう。</p>
	<p>座長がおっしゃる通りである。アピールや見せ方の面で財団と協力して決めていきたい。</p>
	<p>計画ができた後の届け方が大事なのだと思う。時代が変化しており、検討の継続が大事なことだろうと思う。10年後や5年後ではなく、いつも継続して検討し、タイミングを見計らって次の計画につなげていくことが大切であり、この会議体も重要なものなのだと思う。</p>

発言者等	発言内容等
	<p>パブリックコメントを拝見したところ、例えば 29 番の意見でまちづくりと観光や 17 番の運用と改善といった視点で計画案を見ると、40 ページ以降に観光と商業の視点が入っている。観光・商業から得た収益を循環させ、地域の活性化だけではなく課題解決に用いるという視点も必要なのではないかと思った。地域の活性化促進だけではなく、調査で分かった満足度が相対的に低い項目に活かしても良いと思う。収益を観光や教育事業につなげていくこともできるのではないか。魅力につなげるだけではなく、課題解決に用いるシステムにつなげていくことが大事だと考えている。観光・商業から伝統文化や子どもたちにつなげることもできるだろう。</p> <p>40 ページの 17 番「様々なコンテンツとの共同での事業の実施」でアニメ等のメディア芸術に触れているが、これらのコンテンツは文化庁もすでに支援している。基本的には国が振興する資源なので、その視点も取り入れれば重みが出ると思う。</p> <p>また、目黒区を訪れ体験する機会を充実させることに触れている。例えば、盆栽ミュージアムが埼玉にあるが、埼玉ではこういった資源で作品を作る取組を進めている。歴史的に継承されたものとメディア芸術による新旧融合や再構築も視野に入れた書きぶりを考えてはどうか。</p>
	<p>例えば、循環や課題解決については、46 ページの多様な資金調達に関する項目でも触れており、緩やかに書いている。</p> <p>コンテンツについて「現在に普及している」ではなく「様々なコンテンツ」という書きぶりでも良いのではないか。</p> <p>なお、文化施設について区がしっかり整備して欲しいという意見を持っているため、後ほど事務局にお伝えしたい。基本的には区がしっかりと整備し活用するという記載をして欲しいというものになる。</p> <p>検討会後にも追加で各委員から意見があれば、事務局へメール等で意見をお送りいただければと思う。</p>
3. 今後のスケジュール	
	<p>今後のスケジュールを説明。 この計画完成が終わりではなく、協力して計画を推進していきたい。</p>
4. 閉会	
閉会挨拶	